

2018年(平成30年)2月オホーツク管内倒産集計

30年3月6日

株式会社 東亜リサーチ

北見市常盤町3丁目16番42号

Tel (0157) 23-6288

Fax (0157) 24-1033

発生ゼロ続く 3か月発生ゼロは過去10年で初めて

昨年12月から連続で発生ゼロ

■前月比	件数	同	数(平成30年 1月	0	件)
	負債総額	同	数("	0	円)
<hr/>					
■前年同月比	件数	4	件減少(平成29年 2月	4	件)
	負債総額	1億300万円	減少("	1億300万円)	

平成30年2月の発生状況

平成30年2月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生件数がゼロだった。

これは発生がゼロだった前月と比較すると件数、負債額ともに同数。前年同月比では件数で4件、負債総額で1億300万円のそれぞれ減少となり、負債総額は3か月連続で前年同月を下回った。

月間発生ゼロは昨年12月から3か月連続となったが、これは過去10年間で初めのケース。過去5年間の2月の発生状況を見てみると平均件数は2.0件、同負債総額で2億1,040万円となっており、2月は閑散期で比較的発生が多い月ではあるものの、今年は発生ゼロで小康状態を維持した。

過去5年間と今年1～2月の発生推移

過去5年間の1～2月の発生推移は【下・表】の通りで、平均件数は3.2件、同負債総額で5億960万円となっているが、今年はいまだ発生が皆無であるため、平均値及び前年同期間を大きく下回っている。

過去5年間と今年1～2月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
25年	4件	9億9,800万円
26年	3件	6億9,900万円
27年	2件	6,000万円
28年	2件	6億8,800万円
29年	5件	1億3,100万円
30年	0件	0円

30年月別倒産件数・負債額

年月別	件数	負 債 額
1月	0件	0円
2月	0件	0円
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
合 計	0	0円
29年合計	5	1億3,100万円
前年対比	▲5	▲1億3,100万円

1～2月主要因別倒産件数

主要因	29年件数	30年件数
販売不振	5	0
回収難	0	0
過当競争	0	0
連鎖	0	0
計画失敗	0	0
放漫経営	0	0
旧債重荷	0	0
代表死亡	0	0
その他	0	0

1～2月地区別倒産件数

地区	29年件数	30年件数
北見市	3	0
網走市	1	0
紋別市	1	0
常呂郡	0	0
網走郡	0	0
斜里郡	0	0
紋別郡	0	0

1～2月業種別倒産件数

業種	29年件数	30年件数
農・林・漁業	0	0
建設	0	0
製造	1	0
卸、小売	0	0
サービス	0	0
飲食・ホテル	3	0
車輛	0	0
運輸	1	0
燃料	0	0
その他	0	0

1～2月企業形態別倒産件数

企業形態	29年件数	30年件数
株式会社	1	0
有限会社	1	0
特殊法人	0	0
個人	3	0

1～2月倒産表面化要因別件数

企業形態	29年件数	30年件数
法的処置	4	0
2回目不渡り	0	0
弁護士一任	1	0

今後の見通しと問題点

今年に入って倒産発生はなく、昨年12月から3か月連続でゼロで推移するなど沈静化している。金融機関の前向きな融資態勢をみると今後急激に増加することはないとみられるが、人手不足による運送費や原材料価格の上昇を背景に3月から4月にかけて暮らしに身近な食品をはじめ、宅配料金などの値上げが相次ぐ予定。一般家庭への影響は大きく、更なる節約志向が広がれば、消費の手控えが進み、小売業、サービス業などへの影響が懸念される。

各企業では人手不足に伴う人件費増や原材料の高騰に対応し、収益を確保するためには生産性の向上が企業継続の鍵となる。こうした取り組みができない小規模、零細企業が今後収益悪化が進み、資金繰りが限界となって息切れする可能性も否定できない。